がん種　卵巣がん

レジメン名　TC 療法

催吐性リスク分類　高度

番号	薬剤名	投与量	投与方法	投与時間	備考	投与日					
						1	2	3	4	…	21
1	アプレピタントカプセル125mg	1カプセル分1	内服	午前中	抗がん剤投与60-90分前	○					
	アプレピタントカプセル80mg	1カプセル分1	内服	午前中			○	○			
2	生理食塩液	250mL	点滴静注		ルートキープ用	○					
3	デキサート注射液1.65mg	6管	側管静注			○					
	ファモチジン注射液20mg	1瓶									
	ポララミン注5mg	1瓶									
	生理食塩液	20mL									
4	アロキシ点滴静注バッグ	1袋	点滴静注側管	30分		○					
5	パクリタキセル	175mg/㎡	点滴静注側管	3時間	インラインフィルター使用	○					
	生理食塩液	500mL									
6	カルボプラチン	AUC 6	点滴静注側管	1時間		○					
	5%ブドウ糖液	250mL									
7	デカドロン４mg	2錠分1	内服	朝食後			○	○			

1コース期間（次のコースまでの標準期間）　21日

総コース数　6コース

休薬規定及び減量規定、中止基準

Grade2以上の有害事象で休薬、減量を考慮

<投与量の目安>

減量レベル	カルボプラチン		パクリタキセル（mg/㎡）
	AUC	最大投与量(mg)	
0	6	900	175
1	5	750	135
2	4	600	110

その他

＜パクリタキセル＞

・アルコールに過敏な患者は慎重投与

・併用薬の確認

併用禁忌…ジスルフィラム、シアナミド、プロカルバジン

併用注意…ビタミンＡ、アゾール系抗真菌薬、マクロライド系抗生物質、ニフェジピン、シクロスポリン、ベラパミル、ミダゾラム